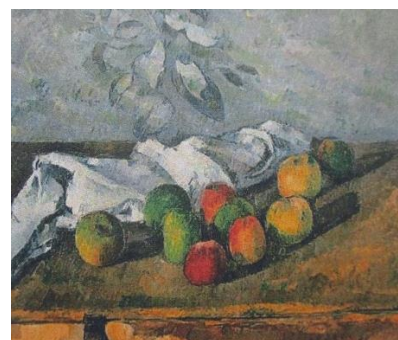
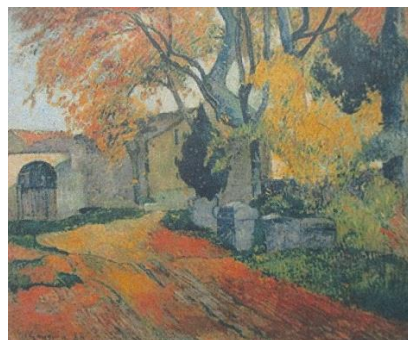


SONPO 美術館 開館記念展 日時指定入場制

SONPO 美術館（東京・西新宿） 2020.07.10～09.04



SONPO 美術館は、1976 年の開館以来、新進作家の支援や対話を通じた美術鑑賞教育の普及支援に取り組んでいる。今回の新美術館のオープン記念展覧会では、当館のコレクションの中でも際立つ優品を集め、フランス近代絵画の中でも人気の高い「ゴッホ」「セザンヌ」「ユトリロ」をはじめ、日本画壇の重鎮である「東山魁夷」や「平山郁夫」などの「祝玉のコレクション」の中より、同館が所有する「640 点」のうち「70 点の作品」を紹介している。



ファン・ゴッホ 《ひまわり》 1888 年 油彩/カンヴァス

2016 に 53 億円の価格で購入したことで話題となった作品であるが、改修による閲覧は特別に設計したスペースは、鑑賞者の顔が映り難い特殊なガラスが設置されてよりも近くから鮮やかなその色彩を鑑賞しやすいようになった。

ポール・ゴッホ 《アリスカンの並木路 アルル》 1888 年油彩/カンヴァス
画伯が 40 歳時に「ゴッホ」に誘われて共同生活を始めて直ぐに描いた作品で、アリスカンとはアルルの南東にある古代ローマ遺跡のことである。

ポール・セザンヌ 《リンゴとナプキン》 1879～80 年 油彩/カンヴァス

画面の構成は、伝統的な線遠近法が採用され、全体が同じ視点から描かれ、左手前から差し込んでいる光が、右向きの影を作りだしていて、非常に安定して見える。この作品の最大の特徴は、絵の具を塗っていく画法にあり、小刻みなタッチで同一方向に平行に塗り付けて描かれていることである。